

生活習慣病と糖尿病予備軍

中国は近年、生活水準の上昇に伴い、糖尿病や高血圧を中心とする生活習慣病の患者が増加傾向にある。2015年の発表によると、中国成人の糖尿病有病率は10.9%であり、中国の糖尿病予備軍率は35.7%である。また、高血圧は18歳以上の人口の25.2%と報告されている。高脂血症、肥満などの割合も近年急激に増加している。これらの数値から、中国の成人人口を約10億9000万人とすると、糖尿病予備軍は約3億8810万人（うち男性が2億40万人、女性が1億8770万人）に上ると推定される。